



2023 年(令和 5 年)4 月 19 日

奨学金について、どのくらい知っていますか??

成績には関係ないっ!という、全国学力学習状況調査が終わり、その1週間後に、いよいよ進路に関わる、思いっきり成績に影響する「実力テスト」が来週、実施されます。『実力テストなんだから、今の実力がわかればいいのさ。あははは〜ん♪』なんて、もしかして思ったりしませんか?



近い将来、進路学習会にて、改めて詳しくやるかな?入試までの成績についての情報ですが、簡単に言うと、公立は「5段の成績と当日テスト」、私立は「実力テストの結果と、5段の成績、当日テスト」が超重要なのですよ。…と、こういった受験(検)に関する細かいところは、「行きたい学校」が見えてくれば、追い追いやっていいとは思いますが、以前から言っている通り、成績は良い方が有利になることは「間違いないっ!」(by長井秀和)し、現時点での理解力が高い方がいいに越したことはないっ! (by…??)と、断言できるわけです。

今は行きたい学校を探しましょう、と呼び掛けているにもかかわらず、「公立はお金が安く、私立はお金が高い。だから公立しか無理。」こんな少し間違った考えを、よく耳にします。昨年の進路学習会でも話しましたが、実はそう単純でもありません。私立高校では少しお高い受験料の後、入学金、設備費、教科書、制服など入学一時金として数十万円が必要となります。さらに、授業料。「お金がかかる。」とお家の人が言いたくなるのも当然でしょう。

ですが、公立の場合でも、入学時にはまったくお金がかからないわけではないし、多くの生徒が大学進学のための予備校(塾)へ通っている所謂、Wスクールの状態ならば、むしろ私立よりも高額となるケースもあります。

そこで、進学を希望していて、努力を惜しまず頑張っている人には「奨学金」という色々な団体から利息なしで学費を貸してくれる制度があるのですが、どのくらい知っていますか?種類によっては、「貸与」ではなく「給付」型の返済しなくてもいい奨学金もあるのですよ。調べる前から「無理」とあきらめる(調べようとせず、妥協する?)のではなく、可能な限り選択肢を広げてみましょう。繰り返しになりますが、今は、いろんな学校を見て、行きたい学校を探すときなのです。お家の人も相談し、できることはどんどん利用してください。努力を惜しまず頑張る人には、より多くの進める道が拓けていきますよ。(奨学金の基本は、経済的に進学が困難な人に対するものです)

奨学金制度とは…私立高校の特待生制度とは、また別です

進学を希望しているのに、経済的な理由で進学することが困難な人に対して、色々な団体から学費を借りることが出来る制度。高校や高専へ入学後申請できるものもありますが、中学校在学中に「予約」が必要なものもあります。専門学校進学者にも対応できるものもあります。

どんな奨学金があるのか…公的なものだけでなく、企業によるものもあります

○兵庫県高等学校教育振興会奨学資金 ○明石市給付型奨学金 ○あしなが奨学金 ○交通遺児奨学金
○母子福祉資金貸付金 ○ライオンズクラブ合同奨学金 ○西川種子交通遺児育英基金
○私立高等学校入学資金貸付

などあくまでもこれらは一例。他、多数あります

奨学金の額は…保護者の収入によっても変わります

種類によって、また公立高校(高専も含む)と私立高校でも異なります。だいたい次のような金額です。

<公立>月額10,000円~30,000円 <私立>月額20,000円~40,000円

返還の方法は…貸与・給付だけでなく、免除や、減免などもあります

高校や高専を卒業後、10~20年の間に返還。無利息。大学へ進学した場合は、大学卒業後になります。

と、大きくまとめるとこんな感じですが、泉も実は奨学金利用者でした。高校、大学と7年間お世話になりました。もちろん、すでに返還しました。(まあ、一部免除されたんですけどね)成績に関わる、ひいては高校生活にも大きく影響するかもしれない「実力テスト」まで、まだ数日ありますよ。どのように週末を過ごしますか?受験生諸君!